

彙 報

第十九卷第六號 昭和八年六月

室蘭驛カー・ダンパー基礎新設其他工事

(此の報告に就ては准員工學士大川一郎君の勞を煩したり、茲に感謝の意を表す。)

1. 箇所名並に工事種類

位 置： 北海道室蘭市室蘭驛構内

工 事 種 類： カー・ダンパー基礎工事

2. 計畫概要、工事状況

從來室蘭に於ける石炭船積は木造の海上高架棧橋よりシュートによりてなされしが、積出さるゝ石炭量は逐年増加して已に取扱困難なる状態にあり、豫想せらるゝ今後の増加に對し現設備を以てしては到底之が積出しをなし難く、加ふるに在來木造高架棧橋は經年腐朽愈々甚だしく、改築を促すこと急なり、依つて海面を埋立て構内の擴張をなし、棧橋を新設し且つ機械設備を施し、石炭年額 4 500 000 噸を取扱はんとす。これ即ち室蘭水陸聯絡設備計畫の依つて來るところにして、本工事は其の中の一なり。

カー・ダンパーの前後設備の概要は次の如し。所要の仕譯を終へ盈車 1 號線上に留置されたる盈車は、必要に應じブレーキ解除に依り 11/1 000, 10/1 000, 5/1 000 の勾配を順次下り、ミュール・ピット上に轉送さる。而してミュールに依り 120/1 000 の勾配を押し上げられ、カー・ダンパーに至れば此處に於て轉倒せられ、空車は 100/1 000, 10/1 000 の勾配を経てキックバックに至り、此處より空車線に歸る。一方カー・ダンパーにて轉倒せられたる石炭はホッパーよりベルト・コンベヤを経て石炭積込機に依り岸壁に横付けせられたる汽船へ積込まる(附圖第一、第二、第三参照)。昭和 7 年 9 月起工、ミュール・ピットは同年 12 月殆んど完成せり。カー・ダンパー基礎は鐵道省貸與鐵矢板(テルルージュ、ラッカワナ、八幡製鐵所製鋼矢板長 8 米より 10 米迄各種取交せ)を構造物より 1.5 米廣く 15×25 米の方形に、天端を M.H.W.L. より 30 糎高く(埋立面下約 1 米)打込み締切をなしたる後、基礎根掘を開始せり。根掘底面は地上面下 7.6 米なるが、初めは殆んど湧水を見ず、只鐵矢板のジョイントより僅かに漏水あるのみにて、6 吋のセントルヒューガル・ポンプ 1 臺にて排水に充分の餘裕ある位なりしが、地上面より約 5 米掘り下げたる時一時に根掘底面の一部より急激に噴水し、約 1 200 立米の容積を約 20 分間にして満水し、根掘の進行を不能ならしめたり。こは此の根掘現場に接近して存在せる舊護岸(間知石空積)の裏込を通して海水が鐵矢板の先を潜りて浸入せしものなることを認められしを以て、鐵矢板の一部在來護岸に近き部分を更に 1 米打ち下げ堅盤に達せしめ、オーバー・フローの水を堰止むるには多少の困難を生じたるも、根掘底面よりの噴水は漸く防止することを得たり。切梁に I 型鋼(300×150@76.83 kg)を用ひ、地上面下 2.7 米の點に挿入、尙地上面下 6.0 米の點に更に第二段目の切梁を施し、現在根掘施行中なり(寫眞第四、第五参照)。本工事中ミュール・ピット以外の工事はコンクリートの外部に露出せる表面に防濕工を施す設計なり。防濕工として地上面以下のコンクリート表面にはアスファルト間にコットン・ファブリックを挿入張り上げた三層式、同地上面以上の表面には二層式の防濕工を、尙其の保護工として其の表面に鐵網挿入の保護モルタル工(厚 50 糎)を採用せり。機械設備は別途工事にして基礎工事竣功後施工の豫定なり。

3. 工 事 費 49 829.33 圓(契約當初 49 880.00 圓のところ設計變更に依り減額)

内 譯

カー・ダンパー基礎	26405.000 圓
ミュール關係機械室	9602.990 //
ミュール・ピット	9642.350 //
ベルト・コンベヤー出口	4178.990 //

4. 主要材料 (支給品)

鐵道省より請負人に貸與並に支給せる工事中機械器具及材料の主なるものは次の如し。

品名	数量	備考
セメント	8813 袋	
鐵桁	2 連	特殊型支間 11 米
古 鐵 桁	3 //	支間 12.19 m 及 4.57 m

5. 主要機械器具 (貸與品)

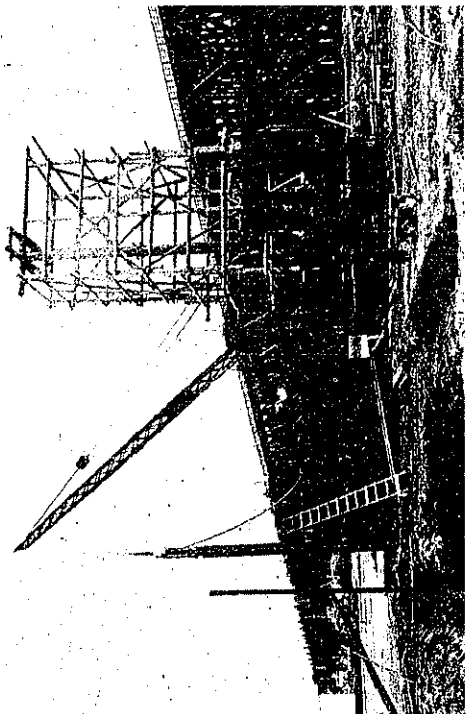
品名	性能	数量	製造工場	備考
コンクリート・ミキサー	ランサム 14s 50 サイクル 220 ボルト 1059	2 組	王子鐵工場	
イナンドーター		2 //	東京山越工場	
ストーン・クラッシャー		1 //	大塚工場	ダイヤレートルー型
ロコモチブ・クレーン	3 ton 揚 軌間 3'-6"	2 基	石川島造船所	
鐵 矢 板		212 枚		{ 製鐵所 II 型 10~8 m 120 枚 テールー・ジュ II 型 8 m 53 枚 ラッカワナ A.P. 14 9.14 m 39 枚
渦 卷 ポ ン プ	6" 井口式	2 臺	荏原製造品	

6. 工事執行者名 鐵道省
7. 計畫設計者名 札幌鐵道局工務課工事掛
8. 工事監督者名 札幌鐵道局工務課室蘭派出所
9. 施工方法 請負, 請負人 飛鳥組
10. 起工年月 昭和 7 年 9 月
11. 竣工豫定年月 昭和 8 年 7 月

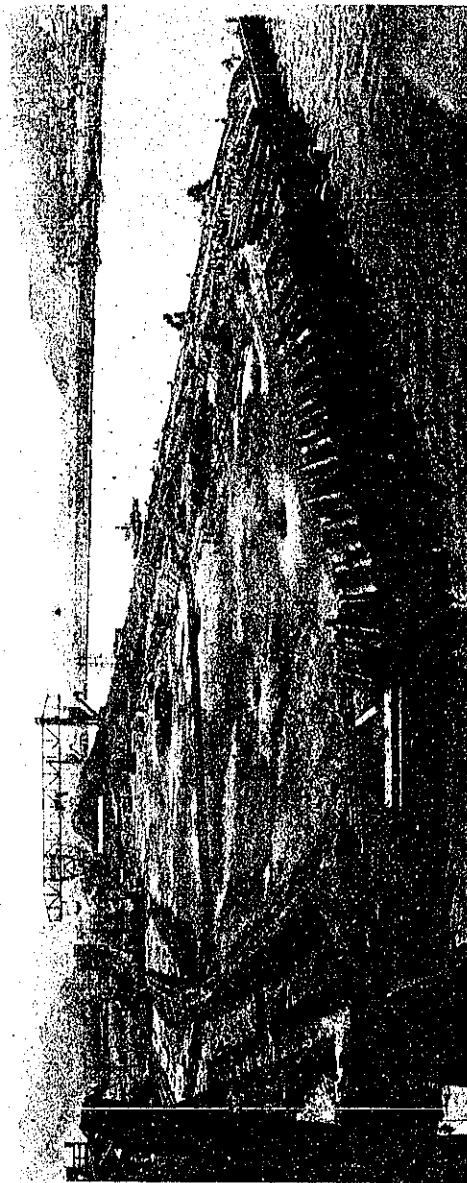
寫眞第一 室蘭驛構内鳥瞰



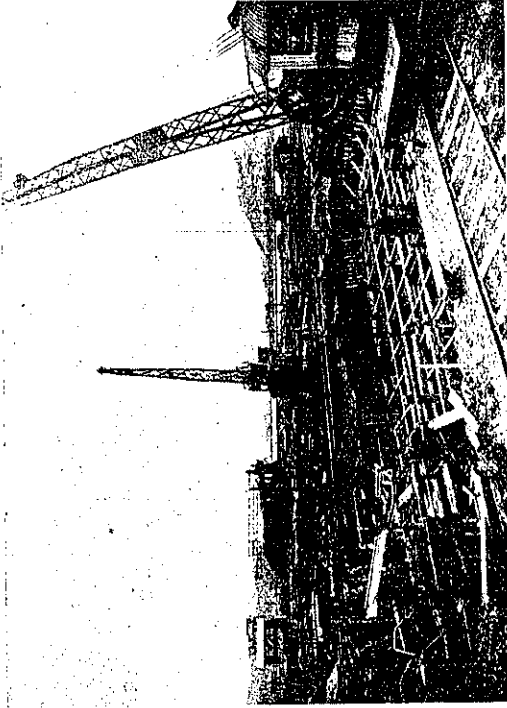
寫眞第三 カー・ダンパー基礎締切用鐵矢板打ち込み



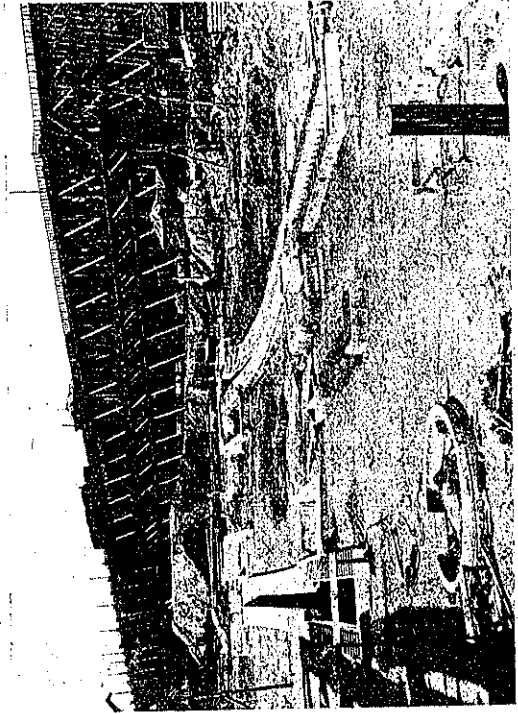
寫眞第二 室蘭驛カー・ダンパー基礎工事現場附近



寫眞 第五 カー・ダンパー基礎掘削及杭打ち



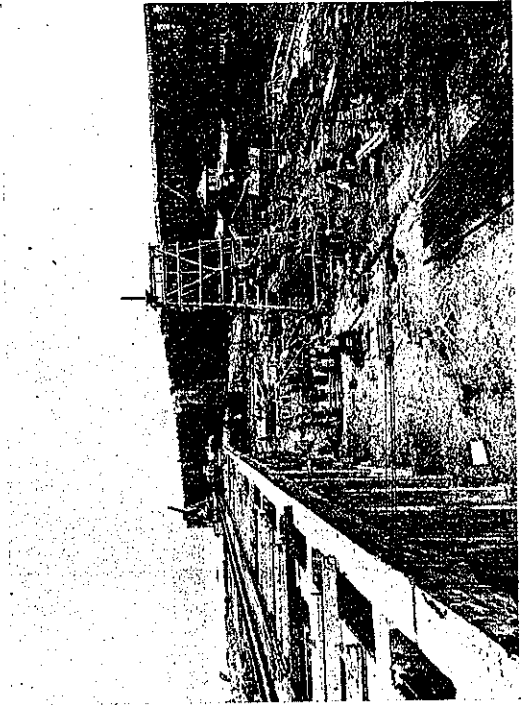
寫眞 第七 ミュール・ピット・コンクリート工出来上り



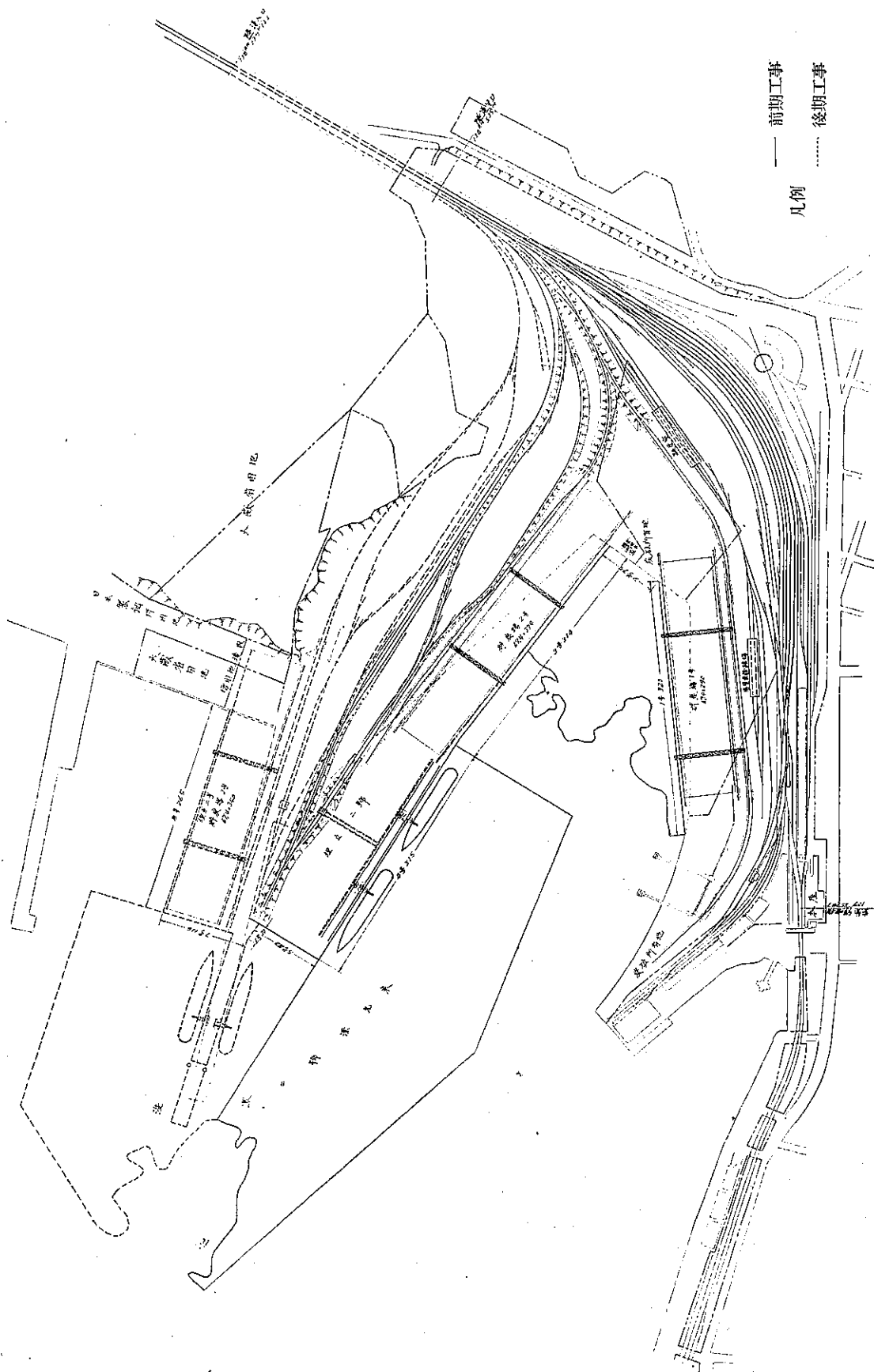
寫眞 第四 カー・ダンパー基礎締切内切梁工

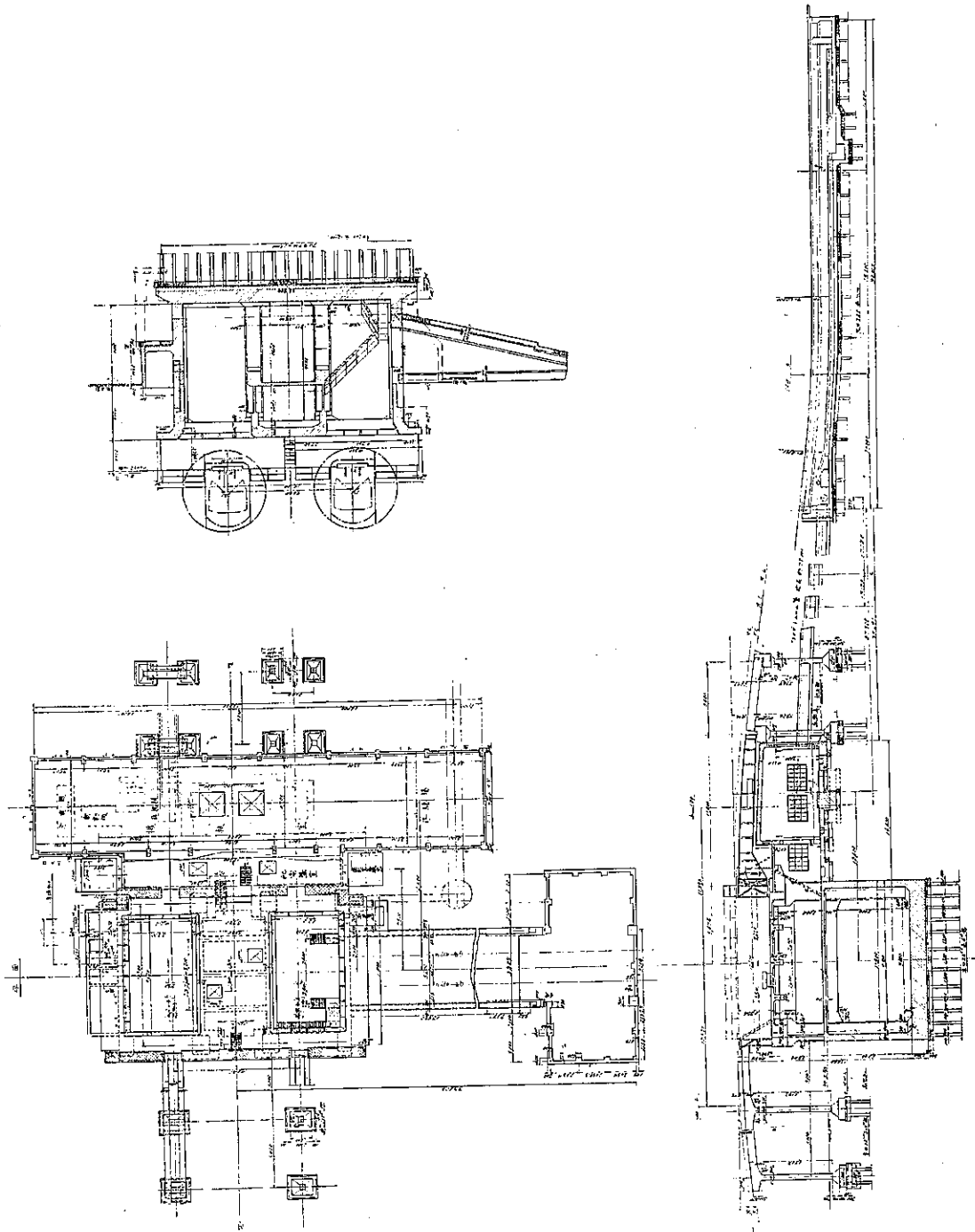


寫眞 第六 ミュール・ピット基礎掘削及杭打ち



附圖第一 室蘭驛平面圖





附圖第四